

身体的拘束最小化

施設基準管理からみた現状と課題

募集
要綱

日時

2025年

12/5 日(金)

※14時～16時
(120分)

実施形態 ≫ 対面講義とWEBでのハイブリッド

現地会場 ≫ ビジョンセンター市ヶ谷2階 207号室

参加対象 ≫ ①会員 ②会員施設の職員等 ③非会員

参加人数 ≫ 対面50人 Web人数制限なし

参加費 ≫ ①②無料 ③1人(1施設)5,500円(税込)

※お申し込み 10月17日(金)13時～

申し込みの方法は当協会のホームページをご確認ください。

入院基本料の新通則「身体的拘束最小化」は、2025年6月から義務化され、チームの設置、指針の作成、院内の拘束と解除のルール化、職員研修など、組織全体での取り組みが進んでいます。体制は整ってきたものの拘束率はなかなか下がりず、医療安全と患者の尊厳尊重のはざま現場の看護師たちは悩み、模索しています。また未実施減算の解釈などの質問も寄せられています。

本研修では施設基準管理と看護管理から課題と対策を探ります。

座長

(株)ウォームハーツ代表取締役
日本施設基準管理士協会理事
長面川さより



事例
提供者

事例1 共立蒲原総合病院 看護部長
松永 光代

事例2 横浜市立市民病院 副病院長兼看護部長
土屋 恵美子

事例3 茨城県立中央病院 事務局総務課係長
酒主 剛

事前質問大募集!!

＼ ご質問お待ちしております! /

「身体的拘束最小化と施設基準管理」に関連するご質問を事前に受け付けます。

11月14日(金)までに当協会ホームページ「教育支援カリキュラム」から本研修の概要ページに記載のGoogleフォームより質問内容をご記入ください。講義に盛り込むか、研修当日の中で回答させていただきます。(すべての質問にお答えできない場合があります。ご了承ください。)

※申し込み時の備考欄等にご記入いただいても、回答の対象とはなりません。

詳しい情報は
こちらから

